

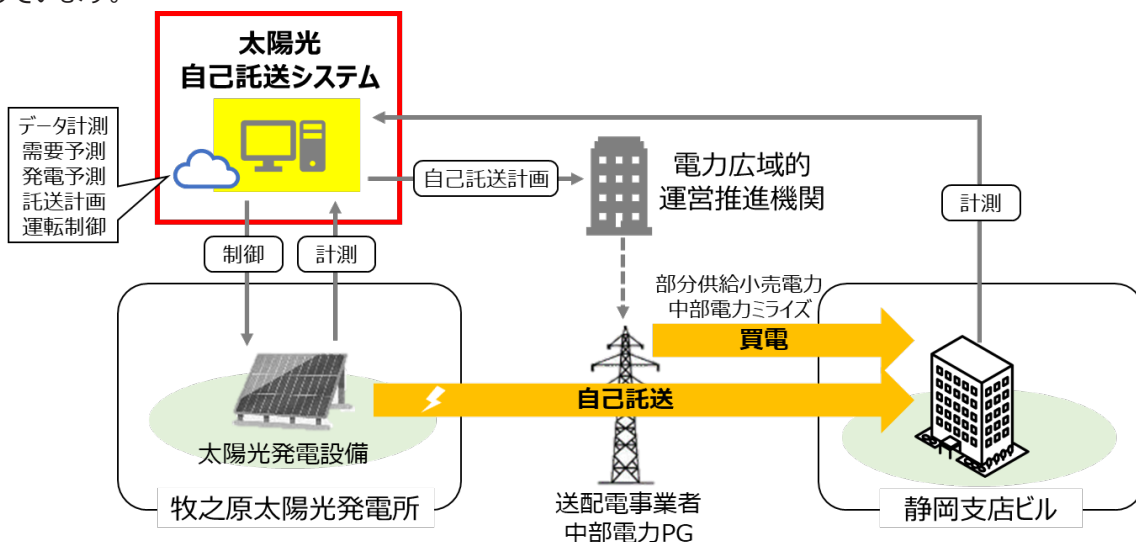


太陽光自己託送システム

遠隔地の太陽光発電所からグリーン電力を自己託送

概要

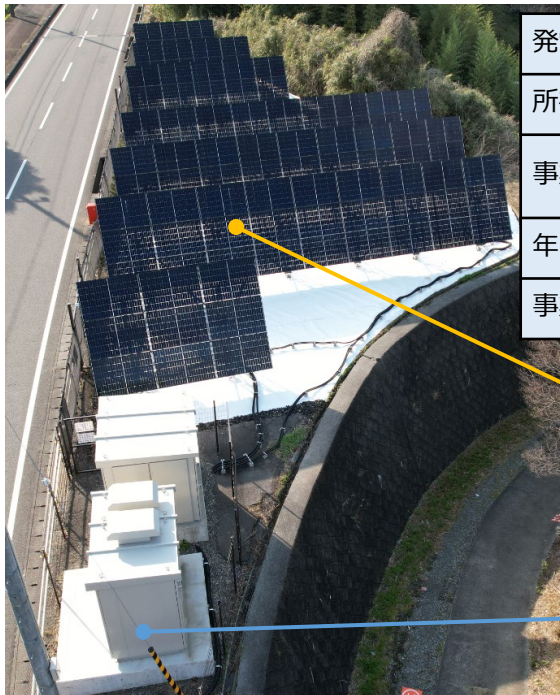
遠隔地の太陽光発電設備からグリーン電力を自己託送するシステム（太陽光自己託送システム）を開発しました。そして、静岡県牧之原市に建設した太陽光発電所に本システムを適用し、2024年4月から当社静岡支店ビルへ電力供給しています。



開発の背景

環境問題の取り組みとして、敷地内（オンサイト）に太陽光発電設備を設置して自家消費し、エネルギーの脱炭素化を進める企業が増えています。敷地内の設置スペースや、屋根荷重などの制約により、敷地外（オフサイト）での再生エネルギー調達ニーズが高まっています。

そこで、オフサイトでの用地確保の問題解決として、農地や耕作放棄地にも活用可能な高角度型太陽光発電設備の適用・開発と、安藤ハザマ次世代エネルギープロジェクトでの自己託送ノウハウを基に、太陽光発電電力の自己託送実務を自動化する「太陽光自己託送システム」を開発しました。



発電所名	株式会社 安藤・間 牧之原太陽光発電所
所在地	静岡県牧之原市
事業概要	太陽光発電および遠隔地から再生可能エネルギーを直接調達する自己託送の運用
年間発電量	約4.1万kWh
事業開始日	2024年4月1日

設備仕様

太陽電池：両面ガラス単結晶
410W×126枚
交流出力：50kW

蓄電池：サイクルユース鉛蓄電池
1000Ah×48V (48kWh)
交流出力：13kW
寿命：4500サイクル (DOD70%)